

【経営理念】

1. 利用者ニーズに適応した高品質なサービスの提供
2. 地域ニーズに適応した事業の展開
3. 安定的・継続的そして透明性の高い事業経営
4. スキルの高い職員と強固な事業組織

【平成26年度重点目標】

(1) 安定的・持続的な事業経営

近年、短期入所施設の大幅な増床、シルバーサービスの広がりなど多様な事業所、多様なサービス提供による外部環境の著しい変化による競合の状況が生じている。このような中であって、危機管理機能を高めるとともに経営課題分析を十分に行い安定的・持続的経営を図る。

(2) 人材確保及び人材育成

介護サービスの量的拡大に伴って、人材不足が顕著になっているが「和・道」医療福祉グループの組織的強みを活用しながら、特に上越保健医療福祉専門学校との連携強化を図ると共に、職場環境改善に取り組み、人材確保を進めていく。また、サービスの質を維持し専門性を確保するための研修を計画的に進めていく。

(3) 適正な収入確保と経費削減

徹底した情報管理により計画的に待機者管理、空床管理を行って適正な利用者確保による収入増を図る。また、介護保険改正及び消費税増税等の影響を最小限にとどめるため効果的・効率的な経費削減に努める。

(4) サービスの質の向上及び高品質なサービスの提供

新潟県福祉サービス第三者評価を受審した事業所にあっては、結果に基づいた改善によるサービス向上を図る。また、高齢者福祉の動向につねに着目して法人の強みを生かした差別化による利用者確保につなげる。

(5) 介護保険制度改正への対応

平成27年度介護保険制度改正は、地域支援事業の再編、通所介護の機能改革、特養入所対象者の見直し、地域包括ケアシステムの確立などドラスティック（根本的）な改革が検討されており、改正による影響や提供体制等について情報収集、分析、研究を進めて、今後の対応策を確立する。

(6) 新たな事業展開

いなほ園サテライト施設「米岡の郷」を建設事業計画に沿って進める。また、法人業務管理システムの更新に合わせて、法人本部事務体制の強化を図る。喀痰吸引等登録研修を上越地域の介護職員を対象に実施する。外部環境の変化による新たな地域ニーズに応える事業展開を研究検討していく。

## 【法人事業計画】

### 1. 事業・情報管理部会

#### (1) 組織的な利用者確保

- ① 法人各事業の利用者確保を目的とした横断的な組織を創設し、待機者及び空床管理について情報共有や連携を図り経営の安定化につなげる。

#### (2) 危機管理対策の推進

- ① 法人のリスクマニュアルを教材として年間を通じたリスク及びクライシス研修を実施し危機管理能力を高める。
- ② 参考となる事故事例を基に検証研修を実施し、判断力と対応力の向上を図る。
- ③ 重大な事故及び苦情等については、施設と法人が一体となって対処する体制と運用を円滑化する。

#### (3) 情報発信の促進

- ① 昨年に続き法人 HP を活用して、認知症をテーマとした有益な情報を各職種別連絡会の観点から年間を通じて発信する。
- ② 法人 HP を重要なツールとして位置づけ、特に事業 PR と利用者確保を重点とした積極的かつ鮮度の高い更新システムとする。

#### (4) 新たな事業展開

- ① 「米岡の郷」開設準備委員会が主体となって、各事業及び分野毎に組織化して目的に沿った開設準備に取り組む。
- ② 医療と介護の連携に基づく日常の「医療的ケア」の必要性から、介護職員による一定の医行為に必要な「喀痰吸引等登録研修」事業を進める。

### 2. 組織管理部会

#### (1) 法人本部事務体制見直しと、事業組織の機能整備

法人業務管理システム（事業、財務、労務、情報等）の構築にとりかかり、法人内事業所間の円滑かつ有効な情報共有と情報活用を進める。

#### (2) 人材管理システムの評価と整備

- ① 法人の理念と事業計画に則した職員育成を目指し、人事考課制度の見直し及び一部改正作業と合わせ、職位に求められる役割・責任・スキルの明確化、研修の履修体系の確立等、人事考課制度と連動した育成システムを構築する。
- ② 「和・道」医療福祉グループの組織的強みを活用し人材確保を図れるよう、学生ニーズ（仕事・職場に関する条件など）を分析し、次世代が求める・働きやすい職場の研究とその整備に取り組む。

#### (3) 労働環境及び福利厚生整備

- ① からだの健康づくり（フィジカルヘルス）を推進し、職員自らの日常的健康管理（セルフケア）意識を高めると共に、職員健診後の必要受診（要受診・要精検者）を徹底し、結果の検証により傾向と今後の対策を明確にする。また、特定健診・特定保健指導及び付加健診の推奨に努める。
- ② こころの健康づくり（メンタルヘルス）を推進し、メンタルヘルス不調者の発生予防・早期発見に努め、チェック表、経過記録・面接票を効果的に

活用し相談機能の充実を図る。また、メンタルヘルス研修会の開催やメンタル不調者の回復復帰プログラムを作成する。

- ③ 働きやすい職場環境の実現を目指し、労働災害防止への実態把握と予防対策を具体化する。また、時間外勤務削減の励行や休暇制度の拡充とフォロー等については労務担当者等の別組織により計画・検討を行っていく。

### 3. 財務管理部会

#### (1) 新会計基準の定着について

- ① 新会計基準へ移行し2年目となることから、予算及び決算業務の一層の省力化と正確性を担保し、新会計基準の定着を図る。

#### (2) 月次報告について

- ① 会計基準による月次決算書により、よりきめ細かい経営状況の分析や次月への対応を迅速に実施し、効果的、効率的な事業運営を図る。

#### (3) 新規事業の資金計画について

- ① いなほ園サテライト施設「米岡の郷」施設整備等については、法人の資金計画に沿って、自己資金と借入金のバランスを取りながら資金計画を作成するとともに、適正執行を図る。